

令和5年度 環境省受託事業 化学物質環境実態調査  
分析法開発物質一覧

題	LC-MS/MSによる水質中のアルキル硫酸及びその塩類の分析法の検討		
研究期間	R3～R5(終了)	担当課(主担当)	水質環境グループ(大内)
<p>アルキル硫酸塩は界面活性剤等に使用されており、国は化学物質排出把握管理促進法の第一種指定化学物質(特に重篤な障害をもたらす物質、あるいは強い生態毒性を持ち、難分解性・高蓄積性をもち、動植物の生育に支障を及ぼす可能性が特に高い物質)に指定し、リスク評価を進めている。環境リスクは有害性と暴露量から評価することから、本研究ではこの暴露量を正しく評価するためのアルキル硫酸及びその塩類の分析方法の開発に取り組んだ。</p>			
題	GC-MSによる水質中のn-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテルの分析法の検討		
研究期間	R4～R5(終了)	担当課(主担当)	水質環境グループ(大内)
<p>n-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテルは高分子改質剤等に使用されており、国は化学物質排出把握管理促進法の第一種指定化学物質(特に重篤な障害をもたらす物質、あるいは強い生態毒性を持ち、難分解性・高蓄積性をもち、動植物の生育に支障を及ぼす可能性が特に高い物質)に指定し、リスク評価を進めている。環境リスクは有害性と暴露量から評価することから、本研究ではこの暴露量を正しく評価するためのn-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテルの分析方法の開発に取り組んだ。</p>			
題	GC-MSによる水質中の1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパンの分析法の検討		
研究期間	R5～	担当課(主担当)	水質環境グループ(大内)
<p>1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパンはシランカップリング剤合成原料等に使用されており、国は化学物質排出把握管理促進法の第一種指定化学物質(特に重篤な障害をもたらす物質、あるいは強い生態毒性を持ち、難分解性・高蓄積性をもち、動植物の生育に支障を及ぼす可能性が特に高い物質)に指定し、リスク評価を進めている。環境リスクは有害性と暴露量から評価することから、本研究ではこの暴露量を正しく評価するための1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパンの分析方法の開発に取り組んだ。</p>			
題	GC-MSによる水質中のアリルアルコールの分析法の検討		
研究期間	R5～	担当課(主担当)	水質環境グループ(大内)
<p>アリルアルコールは樹脂・医薬・香料・難燃化剤などの原料等に使用されており、国は化学物質排出把握管理促進法の第一種指定化学物質(特に重篤な障害をもたらす物質、あるいは強い生態毒性を持ち、難分解性・高蓄積性をもち、動植物の生育に支障を及ぼす可能性が特に高い物質)に指定し、リスク評価を進めている。環境リスクは有害性と暴露量から評価することから、本研究ではこの暴露量を正しく評価するためのアリルアルコールの分析方法の開発に取り組んだ。</p>			